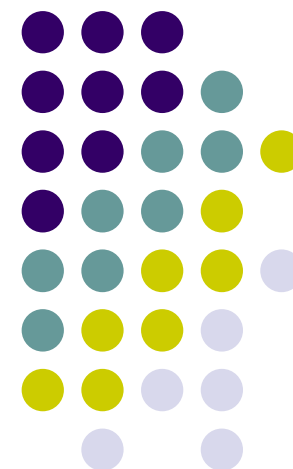


環境省による地域のE S D推進施策

「国連持続可能な開発のための
教育の10年促進事業」

環境省環境教育推進室



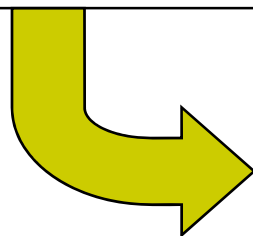
事業の目的



各地域でのESD実践

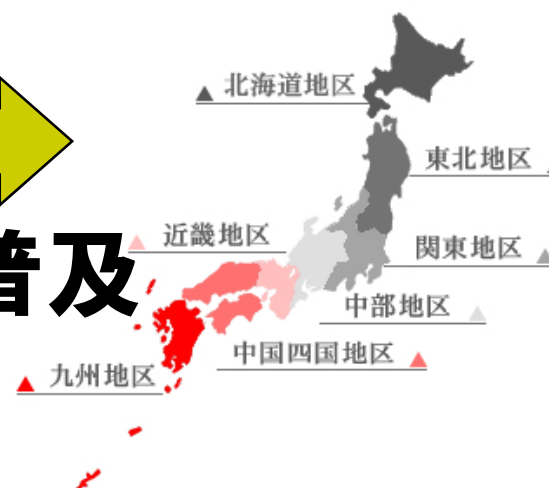
地域に密着したESDの
内容

地域の多様な主体が
協力してESDを行う
仕組み



成果をブロック内へ普及

- ・ ブロック会議
- ・ ウェブサイト 等



ESD事業実施体制

採択地域

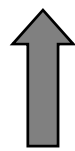
<初年度>

- ESD推進体制の構築
- アクションプランの作成

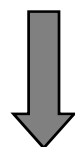
<継続採択された場合：2年目>

- 事業の実施
- 実践活動の報告

助言
枠組提示



報告
フィードバック



全国事務局

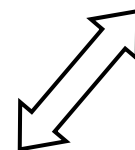
- 専門家による枠組検討・作成
- 各地域への助言、サポート
- キックオフ会議、経験交流会等の提供
- 成果をとりまとめ全国へ普及
- ESD支援施策のあり方を提言



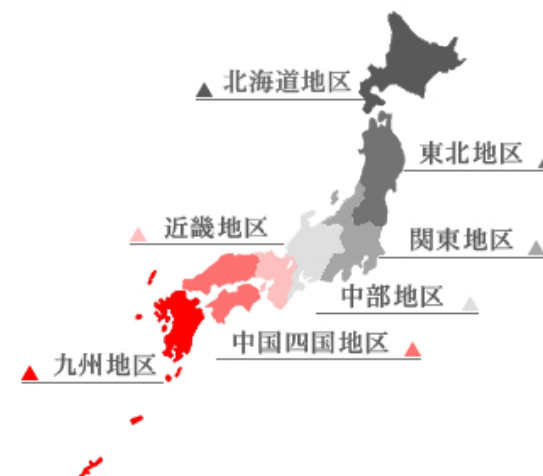
協力

地方環境事務所

ブロック内
各地域への普及



協力



国連ESDの10年促進事業（平成18年度～平成20年度）のモデル事業実施地域

＜全国14地域でモデル事業を展開＞

平成18年度～平成19年度採択地域（10地域）

北海道当別町、宮城県仙台広域圏、
江戸前の海、山梨県須玉町、
静岡県三島市、愛知県春日井市、
大阪府豊中市、兵庫県西宮市、
高知県神集島、福岡県北九州市

平成19年度～平成20年度採択地域（4地域）

大阪府西淀川区、山口県大島町
岡山県岡山市、長崎県雲仙市



ESDモデル事業の特徴



① 内容について

- 環境保全だけでなく、社会、経済面も含む総合的なテーマに広げること。
- 地域に密着したテーマであること。
- 行う事業がどういう点でESDかを説明すること。

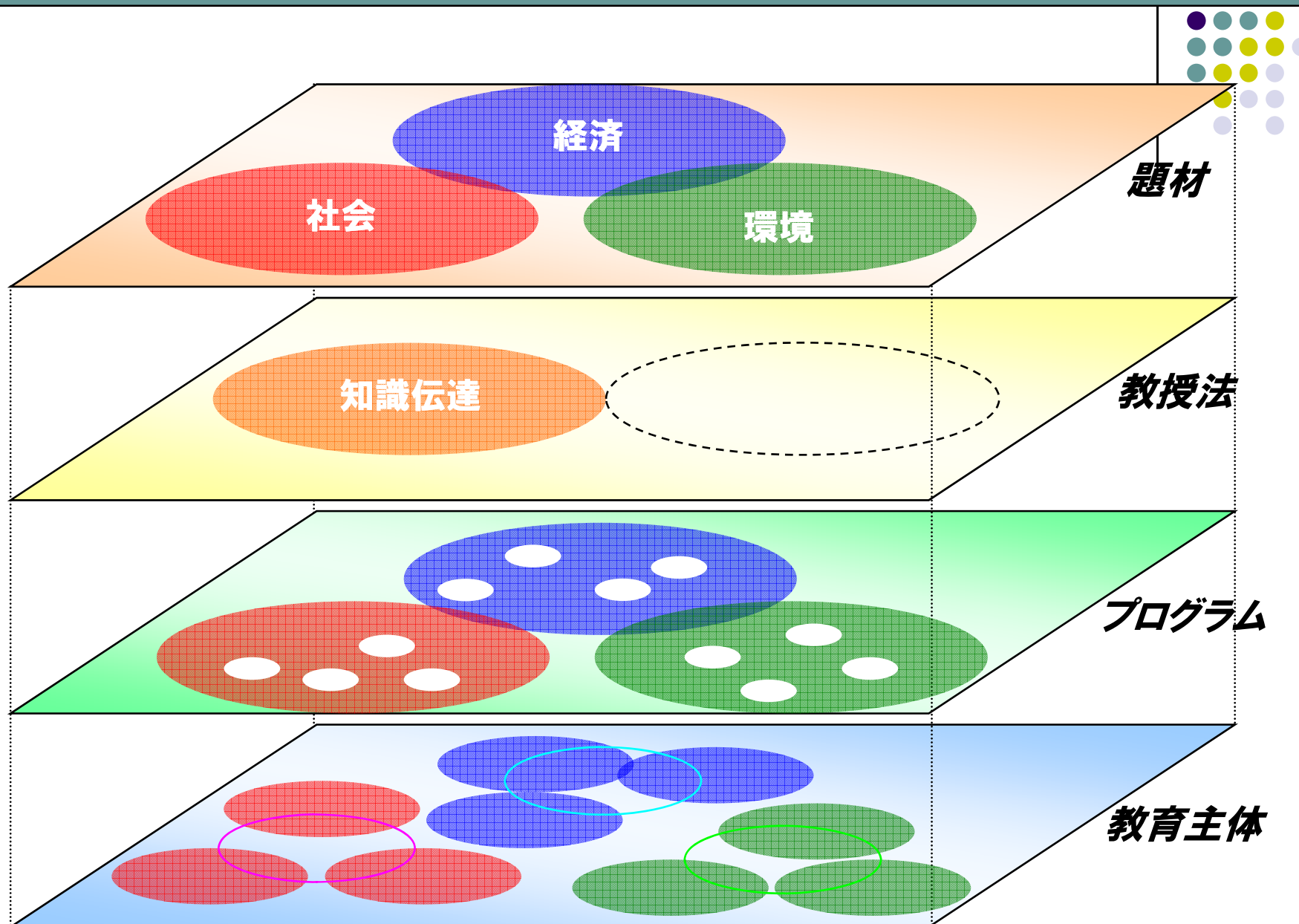
② 仕組みについて

- 学校、NPO、行政、様々なテーマの団体から、多様な主体が参画すること。
- 事業終了後も継続できる仕組みとすること。

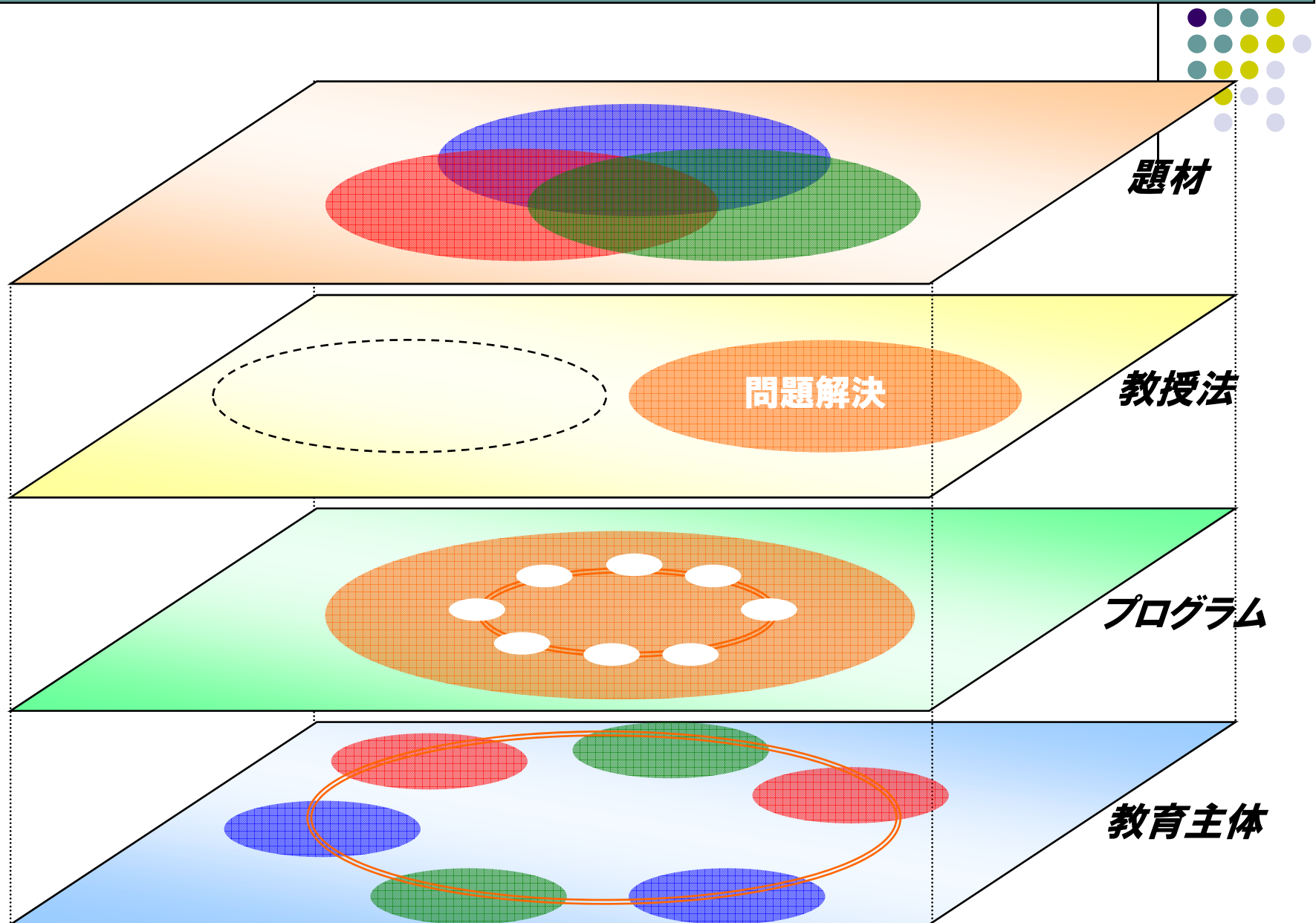
③ 成果について

- 全国のモデルとなるような活動及びその成果（教材、ESDの推進体制等）を生みだすこと

これまでの教育（イメージ図）



環境省 E S D モデル事業の概念整理



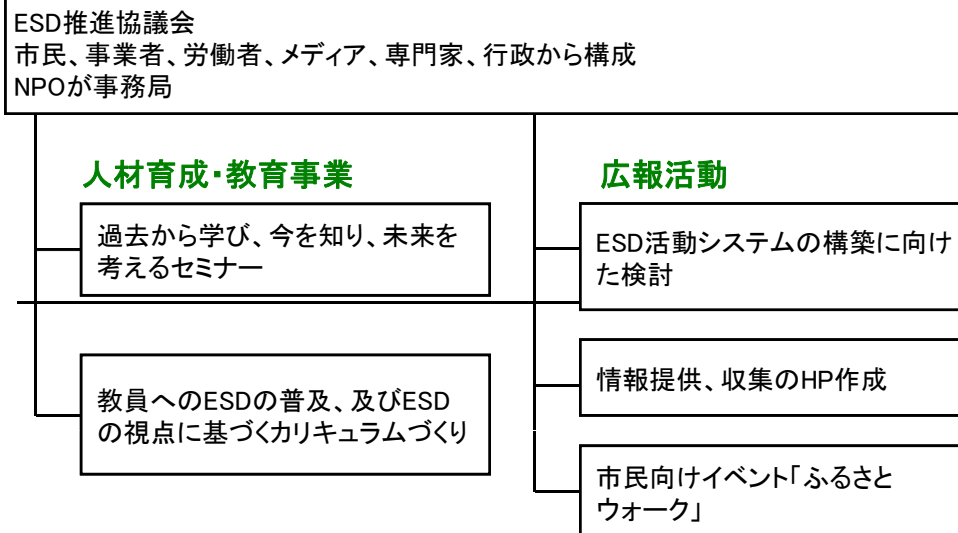
兵庫県西宮市

NPO法人こども環境活動支援協会

ESD促進事業 事業概要

■事業の全体像

推進体制



■成果

- ・参加者20名が多様な角度から持続可能な社会を検討した
- ・今後、エココミュニティ会議などで、実践の場を体験していく予定
- ・「持続可能な社会」を語る上で、現代の課題を「つなぐ」だけではなく、過去から築かれてきた地域基盤を抜きにして、未来は語れない

■課題

「地域コーディネーター」の育成は、一般論を学ぶだけでは難しい。そのためには、地域をほどよく知り、且つ客観的な視点をもつ人材が必要。

■プログラムの実施例

■過去から学び、今を知り、未来を考えるセミナー(全14回)

持続可能な地域社会をつくるコーディネーターの育成を目指す

1. 「文教住宅都市宣言」が目指したことは
2. 「平和非核都市宣言」が目指したことは
3. 「環境学習都市宣言」が目指したことは
4. 「愛と協同」を基本とした協同組合運動の原点とは
5. 世界の子どもの現状は
6. 人権を守る取り組みの現状は
7. 現地見学バスツアー 西宮の歴史・自然・文化関連施設・フィールド
8. 現地見学バスツアー 地域福祉・児童育成関連施設
9. グループワーク「社会が求める人材とは」
10. グループワーク「市民が求める地域とは」
11. 21世紀が求める教育とは
12. 現場見学「学校教育での実践」
13. 現場見学「エココミュニティ会議での実践」
14. 「多様な世代で議論する未来の地域・地球」



■エココミュニティ会議

<環境活動を通じた持続可能な地域づくり>

【構成メンバー】

- ・地域団体
- ・環境衛生協議会
- ・社会福祉協議会
- ・自治会
- ・青少年愛護協議会
- ・コミュニティ協会
- ・学校園PTAなど
- ・一般住民
- ・地域内事業所
- ・市職員

小学校区や中学校区を活動エリアに
概ね市内20地区で設置予定

地域に根ざしたエコ活動を行う
地域単位の組織です。

地域づくりを担う多様な
主体でメンバーを構成します。



ESDイベント

(08.12/2)

「ふるさとウォーク2007」参加者：600名



Aコース (3km)

	チェックポイント	テーマ	担当団体
1	くぐつの特	人権・文化	西吉市教職員組合
2	商店街	環境・経済	西吉中央商店街振興組合（ともも）
3	西吉神社焼けた楠木	平和	西吉市原爆被害者の会
4	西吉神社赤門東側旧国道	防災・歴史	語り部倶楽部
5	プレーパーク(43号沿い)	次世代育成	にしのみや遊び場つくる会
6	吉水の特	自然・産業	LEAF企業プロジェクト
7	東 川（与古道公園）	国際理解	ユニセフ
8	総合福祉センター	福祉	輪イ和イ広場クイズコーナー
9	松原神社・東口商店街	歴史・国際	語り部倶楽部
10	海蔵寺の楠木	参 西	ウェーブ

Bコース (3.5km)

1	海蔵寺の楠木	参 西	ウェーブ
2	松原神社・東口商店街	歴史・国際	語り部倶楽部
3	コープこうべフレンド	環境・経済	生活協同組合コープこうべ
4	四良右衛門	人権・文化	西吉市教職員組合
5	西福寺	平和	西吉市原爆被害者の会
6	みやっこキッズパーク	次世代育成	運営ボランティア
7	大塚北公園	防災・歴史	ボーイスカウト
8	明星池・津門神社	自然・産業	語り部倶楽部
9	総合福祉センター	福祉	輪イ和イ広場クイズコーナー
10	東 川（与古道公園）	国際理解	ユニセフ

山梨県北杜市須玉町 増富地域交流振興特区

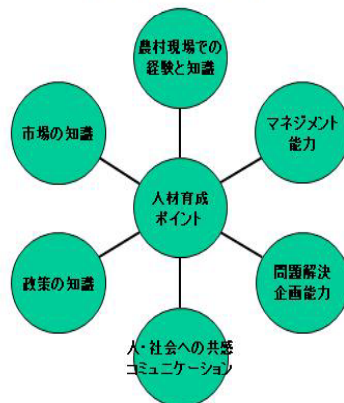
NPO法人えがおつなげて

OJT的農村ESD教育の実践・インフラ的要件の構築

都市と農村の交流と学びあいが培う

持続可能な農村開発の協議組織

人材育成のポイント



増富グリーンツーリズム協議会



黒森自然エネルギー協議会

増富農業研究協議会



黒森彩の森推進協議会

黒森学習交流推進協議会



増富交流居住推進協議会

増富ビエンナーレ協議会



増富流通交流協議会

各協議会運営に必要なコーディネーター育成

えがおの学校（全7回）



内容:これから必要とされる都市農村交流事業の知識、技能、マネジメントを、包括的に修得する機会としての学びの場を、都市農村交流学校として運営

成果:15名が修了、来年度OJTに取り組む

成果:
協議会の活動の成果が一つにまとまり、
増富全体の地域団体により発足

増富地域再生協議会



・子どもたちの農山村での体験活動の受け入れ

・空き家や廃校、農地、森林などの遊休資源を都市住民参加型で活用



・都市と連携した農林産物の商品開発

・富地域内の組織が持つ資源や知恵を集結し、地域資源を活用した都市農村交流によって地域を活性化



新規就農者の支援を通じた農業事業構造の強化

増富バイオマス温泉郷による森林活用



成果発表・情報発信 増富地域再生 シンポジウムの開催



ESDモデル事業の成果
(平成18年度ESD10年促進事業報告書より)

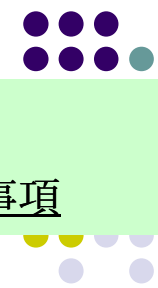


(1) 地域でESDを興していく際に
大切なこと

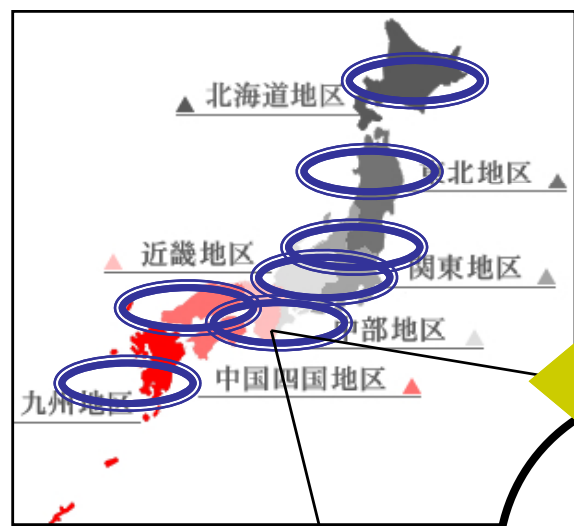
- ① 関わる人たちが、お互いことを時間をかけて学び合う
- ② 関わる人たちがESDを咀嚼して、納得し、活動のビジョンを描く
- ③ 地域の資源や既存の活動を活かし、ESDの概念をうまく活用する
- ④ 学びのプロセスを大切にする
- ⑤ コーディネート機能の必要性

(2) 地域におけるESD促進に有効
な支援とは

- ① 「ESD協議会」からスタートする枠組み
- ② 学びあいの場の提供
- ③ ESDの基本的な理解を進める「入門講座」
- ④ 多様な主体がESDを検討するプロセスの支援
- ⑤ より地域に近い場でのサポート体制



地域におけるESDの推進（平成20年度の取組）
→ わが国におけるESDの10年実施計画の重点取組事項



成果のとりまとめ・教材作成、
成果物の普及

有識者検討会・ワーキンググループ

全国事務局

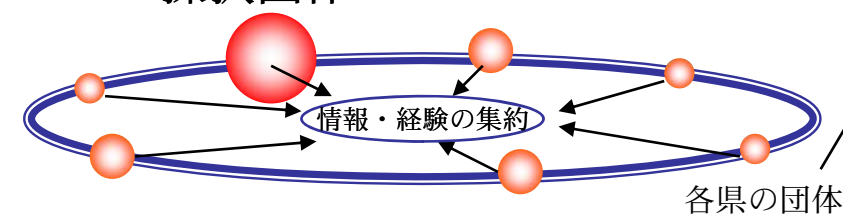
採択団体のESD推進に係る助言・サポート
(レクチャー、プログラムの提示等を含む)

報告・
フィードバック

採択団体

地域レベルでのESDの実践
地域版教材・プログラム作成、結果の発信等

地域におけるESD教材
プログラムづくり&実践
(全国7カ所程度)



市教育委員会、
環境部局、
NPO、大学等

全国7ブロック内で普及
&地域の取組を支援

〇〇地区ESD推進フォーラム

- ・ 総会の開催
 - …採択団体の活動、各県のベストプラクティス、共通の課題等の情報共有・意見交換
 - …各県の民間団体のネットワーキングの場
- ・ 総会の発表資料をウェブサイトで公開→地域レベルのESD推進に係る有用情報の蓄積

➡ 各ブロック内で自律的なESD推進